心の花

会員である千葉県在住の石井千恵子氏が昨年十一月
で満一歳を迎えられた。石井氏は一九五五年（大正四年）に
千葉県浦和郡千代田村（現四街道市）で生まれ、千葉県女子師範
学校・現千葉大学を卒業後は長く小学校に勤務し、現在は千葉県
八街市で暮らしている。一九五五年までは第一次世界大戦の
最後である。国内では大正天皇の即位の礼がとりおこなわれ、芥
川龍之介の「羅生門」が雑誌『帝国文学』に発表されたのが同年
十ー月の出来事であった。

「宮」「長時」年年はふる一日の流れに乗り人は人なり
・あの日の続きやいかに同窓会渡辺さんの元子さんとしあは
・同月号
・同じ月
・年毎に年賀状の束終わる時の流れにしむ百歳
二〇一七年にはついてから心の花誌上の作品を抄出した
のはあ、一〇一歳を迎えても欠陥なく作品を発表する力に圧倒さ
れません、一〇一歳を迎えるも欠陥なく作品を発表する力に圧倒さ
れません。

この会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成

心の花

心の花二〇一七年四月四日

の会の事実を伝えるためにあるものとして
二〇一七年四月四日

川端康成